

ヒドロクロロチアジド 25mg錠

溶出性〈6.10〉 本品1個をとり、試験液に薄めたpH6.8のリン酸塩緩衝液(1→2) 900 mLを用い、パドル法により、毎分100回転で試験を行う。溶出試験開始30分後、溶出液20 mL以上をとり、孔径1 μ m以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液10 mLを除き、次のろ液4 mLを正確に量り、薄めたpH6.8のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に10 mLとし、試料溶液とする。別にヒドロクロロチアジド標準品を105°Cで2時間乾燥し、その約22mgを精密に量り、メタノール4 mLを加えて溶かし、薄めたpH6.8のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に100 mLとする。この液10 mLを正確に量り、薄めたpH6.8のリン酸塩緩衝液(1→2)を加えて正確に200 mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、薄めたpH6.8のリン酸塩緩衝液(1→2)を対照とし、紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、波長272 nmにおける吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品の30分間の溶出率は80%以上である。

ヒドロクロロチアジド($C_7H_8ClN_3O_4S_2$)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times (A_T / A_S) \times (9 / 2)$$

W_S : ヒドロクロロチアジド標準品の量 (mg)

ヒドロクロロチアジド標準品 ヒドロクロロチアジド(日局)。ただし、乾燥したものを定量するとき、ヒドロクロロチアジド($C_7H_8ClN_3O_4S_2$) 99.0%以上を含むもの。